

若手職員座談会



採用3年目
田中さん
北区役所 保護四課

採用3年目
相原さん
北区役所 保険年金課

採用5年目
山谷さん
財政局 固定資産税課

採用2年目
水谷さん
西区役所 保護二課

若手職員に自身の就職活動について振り返っていただき、入庁の決め手や実際に入庁してみた際の印象などをテーマにインタビューしてみました。

入庁の決め手となったポイントや出来事を教えてください

(山谷) 仕事の分野が多岐に渡るため様々な業務を経験できると考えました。常に新鮮な気持ちで仕事ができると思いました。

(水谷) 私も業務の幅の広さにはとても惹かれました。人事異動も定期的にあることから実際にその業務に携わることもできますよね。それから、札幌市内に定住できるということもライフプランを考えるうえでは重要な決め手になりました。

(相原) 私は生まれ育った札幌が好きだったので、さらに魅力のあるまちにしたいという気持ちから札幌市を選びました。インターンシップにも参加して、職場の明るい雰囲気を実際に感じられたことも決め手の一つです。田中さんと初めて出会ったのはインターンシップでしたね。

(田中) そうですね。職員の方々がフランクに接してくれたことがとても印象に残りました。一人で仕事を抱え込まず、相談しやすい職場だと感じる事ができたので、不安なく札幌市への入庁を決めました。

実際に入庁してみてどのように感じていますか

(相原) 市民の方と直接的に関わる機会が多いので、人々の生活の役に立てている実感が持てます。責任がある仕事のため大変なこともありますが、困ったときに協力し合える雰囲気があり、適度にリフレッシュしながら働くことができます。

(田中) 市民の方以外にも、関係機関や他部署など、様々な方々と関わり合いながら仕事をすることが多いことに驚きました。調整などの

大変さはありますが、円滑に業務を進められたときはやりがいを感じます。

(水谷) 仕事のスケジュールの組み方の自由度の高さに驚きました。もちろん部署によるとは思いますが、今は自分のペースで仕事をして、計画的に休暇を取ることができています。プライベートを充実させることができるので満足度が高いです。

(山谷) プライベートを充実させることができると、仕事も頑張ろうという気になりますよね。仕事では周りの職員が業務状況などを気にかけてくれるので、気軽に相談しやすく、働きやすい職場だと感じています。

10年後、どんな自分になりたいですか

(水谷) 結婚して子育てしながら働いていきたいです。今のうちに先輩方の良い部分をたくさん吸収し、将来は私が周りの方々を支える立場になりたいです。

(田中) 私もたくさん知識を身に付けて頼りがいのある職員になりたいです。特にこれから入庁する方々は不安な気持ちもあると思いますが、必ず周りの先輩や同期が助けてくれるので安心して入庁してほしいです。プライベートでは幸せな家庭を築き、家庭内でも頼られる存在になれるといいですね。

(相原) 周りの人への感謝を忘れず、広い視野を持って人と協力し合える関係を築いていきたいです。入庁時には分からないこともたくさんありましたが、困った時に協力し合える雰囲気があるとありがたかったので、相談がしやすい環境を大切にできる職員になりたいです。

(山谷) 仕事を頑張りつつも、プライベートもさらに充実していきたいです。札幌市職員は札幌に定住できるという強みを生かして、家を建てることも考えています。札幌市を良くしたいという想いを持つ方と一緒に働けると嬉しいです。